



医療生協だより

まつしま

第144号 4月17日発行

松島医療生活協同組合 組合員 6,473名 (2010年3月31日現在)

〒981-0213 松島町松島字普賢堂2-11 ■発行/生協だより編集委員会 ■印刷/松島(有)福田印刷  
TEL. 022-353-2696 ■ホームページ http://www.mmcoop.or.jp/

### 『8つの生活習慣を』

- 1) 適正な睡眠時間(7~8時間)をとる。
- 2) 過労を避け、十分な休養をとる。
- 3) 喫煙をしない。
- 4) 過度の飲酒をしない。
- 5) 適度な運動を定期的につづける。
- 6) 低塩分、低脂肪のバランスのよい食事をとる。
- 7) 間食せず、朝食をとる規則正しい食生活をする。
- 8) 一日1回以上よこれを落としきる歯みがきをする。

### 第20回組合員交流会

## 『遠藤さんのお話』

## 大いに励まされました

三月十四日(日)松島町中央公民館で、「地域も組合員も元気いっばい医療生協」をテーマに第二十回組合員交流会が開催されました。

今年、これまでの集會とは趣を変えて、講演と分科会を取り入れた初めての集會となりましたが、参加者もこれまでにない百七十五名となり大成功をおさめました。



午前の部は、盛岡医療生協副理事長の遠藤寿美子さんに「組合員・職員でつくる医療の未来と私の未来」というテーマで講演をいただきました。今、医療部会では、新しく日生協から独立して、日本医療福祉生協連合会をスタートをしようとしています。このことは、これまで以上に国民に対して医療・福祉に責任を持つ

て取り組むことが求められます。そして、そのことは「患者の権利章典」をどう実践させていくかが問われていると思います。

講師の遠藤さんはこうした情勢を踏まえながら、自分の豊富な経験を交えながら、解りやすく話をされ、皆な熱心に聞き取りました。特に、医療生協にたずさわることの大切さ、組合員が主人公とはどんなことか、の具体的なお話に多くの共感を得ました。遠藤さんは、最後に「人生の満足度を医療生協で高めよう」と訴えられました。これからの活動に大いに励まされ元氣の講義となりました。



活動報告では、①支部を中心とした組合員増やしについて、海岸支部の村上支部長が報告。②ボランティア活動について、助け合いの青木代表幹事より報告③核不拡散条約(NPT)について青井専務より意義と代表派遣のカンパの訴え、④大郷ゴミ焼却場建設廃止について、大類幸雄さんより報告がありました。

午後の部は分科会となり①演芸発表では、踊り、カラオケ、コーラス、詩吟、フラダンス、フラメンコ、ピアノの演奏と中味の濃い発表が続き、医療生協の文化的水準の高さを示していただきました。②健康体操では、約一時間にわたり、基礎体操、健康体操、ころばん体操などを組み合わせ実技指導おこないました。これからの班会などで普及するよう大きな期待がもたれました。③家族で出来る介護では、実際に器具を用意して実技の指導がなされたので大変勉強になったと参加者からまたやってほしいと強く要望がだされました。



## 『いのちの大運動』

### とことん全国大集會に参加しました

高橋 啓介

二〇一〇年三月一日(月)〜二日(火)静岡県熱海後楽園ホテルにて、「いのちの大運動」とことん全国大集會が行われました。参加者は九〇医療生協から千六名、松島医療生協からも四名が参加しました。

初日は基調報告のあと、二十一の分科会で各生協の発表。分科会では総演題数二百八十七が発表されました。ここでは松島医療生協から佐藤広さんが「強化月間の取り組みについて」と題して発表を行いました。

二日目は全体会として記念講演「くらし・介護と社会保障」男性介護研究より〜と、前日の分科会の報告発表などが行われました。分科会での発表や夕食交

流会での出し物など、組合員の皆さんのパワーを感じました。組合員のたまり場的な拠点を作ったり、診療所でコンサートを開催したり、組合員の皆さんがやりたい事を実現していることを知りました。また、それを組合員の増加につなげるために、様々な工夫をしていきました。



## 第45回 総代會のお知らせ

第45回総代會を次のように開催いたします。

日時 6月19日(土)13時~  
場所 松島町中央公民館

### ●議題

- 第1号議案の① 2009年度事業報告の件
- 第1号議案の② 2009年度決算報告及び剰余金処分の件
- 第1号議案の③ 2009年度監査報告
- 第2号議案の① 2010年度事業計画(案)の件
- 第2号議案の② 2010年度予算(案)の件
- 第3号議案 役員報酬最高限度額の件
- 第4号議案 日本医療福祉生協への加入及び日本生協連からの脱退
- 第5号議案 議案効力発生





海岸支部

村上和久子

ゆったりと『心の体操』  
雑祭り班会

三月の「ひなまつり」前の二月二十五日(木)に、松島海岸・瑞巖寺近くの松本さん宅で雑祭り班会を開きました。



ひなあられや手作りの総菜・スイーツ・漬物を食べながら、おしゃべりをいっぱいして『お口の体操』、大友理事長から「暮らしや経済と健康・平和の話」を聞いておつむ『頭の体操』、参加者ひとり一人が自分の悩みや好きなこと・悔しい出来事や・楽しい思い出を語り合いました。このような集いが何よりのゆったりした『心の体操』になるようです。

海岸支部では、組合員が集える場として、霞ヶ浦・田町・水主町・垣ノ内の組合員さん宅にお願いして、「お茶飲み班会」を開いています。また、集会所や診療所を使って三十回も集まりました。

出会い・ふれあい・支え合いのネットワークつながりⅡ絆が、医療生協の人とひととの関わりのおかげです。「組合員になって良かった」といわれるように、ゆったりと『心の体操』を続けていきたいと思えます。

高城支部

横田きえ子

頑張りました

〇八年六月に、それまで九人だった「役員会」を「運営委員会」と改称し、委員を十五人に増やして協議・運営してきました。

月に一回会合を持ち、会議や「医療生協だより」の仕分けを終えた後は、お茶飲み班会として色々な話題で自由に懇談しました。他にも六回の班会を持ちました。

二ヶ月に一回の健康講座を持ち、春・秋二回の移動班会として日帰り旅行や一泊旅行を実施しました。

講座を開催する時は、医療生協だよりの配達協力者(班長)延べ五十人や過去

に各種行事に参加して下さった方達を活動協力者(七十七人)として合計百二十三名の組合員に、行事の案内状を運営委員が手分けをして配布、出席を呼びかけて実施してきました。運営委員さんの積極的な働きによって支部活動が支えられ運営されてきたのです。



当支部で特徴的な事は、出資金の積み立て方式です。横田支部長と磯崎副支部長を先頭にしての声掛けで、年間百七十七万円程を集積しました。組合員は四十八名増やしました。高城支部の組合員総数は、七百七十六名で戸数は六百六十六戸です。更に、婦人会や老人会でのそれぞれの結び付きを生かしての誘い合いによって、様々な活動への結集率が高まって来たのも特徴的でした。

磯崎支部

品川 聖治

二〇〇九年度の支部活動

磯崎支部のエリアは、蟹松・磯崎・待井・菱又・長田・西ノ浜・木戸・夕陽が丘・土樋合・白萩・華園地区で、三月末現在の組合員は、世帯数で約五百六十世帯、組合員数で約六百五十五名となっています。

二〇〇九年度の支部活動の概略は、運営委員会を十一回、骨粗鬆症についての学習と骨密度の測定会を二回(参加者三十五名)、認知症についての健康講話会を一回(参加者四十七名)、資料館と温泉での食事を組み合わせたレクリエーションを二回(参加者二十八名)、この他の諸班会も十五回開催し、多数の方に参加していただきました。

これら活動の効果と運営委員の努力、また職員の強力な応援を得て、組合員と出資金ふやしにおいて年間目標をおかげさまでクリアすることが出来ました。



手樽支部

佐藤 良治

手樽支部の活動について

三小支部から手樽支部に名称変更し、二年が経過しました。

この間の取り組みとしては、生協だより配布組織編成を行い、配布協力者の選任に取り組み、手樽支部の組合員全世帯に生協だよりの配布を実現させました。

又、組合員世帯地図を作成し、非組合員への訪問活動をを行い組合員増やしにも取り組んできました。

ある班では、班会の定期開催に結び付き、徐々にではありますがありますが、活動の発展に結びついております。

二〇一〇年度は組合員参加をテーマに班会の多数開催や移動班会等の企画を検討に入れ、組合員さんとの交流を深めていきたいと思えます。

三小支部

佐藤 広

元気に・楽しく・仲良くが合言葉

二小支部は松島第二小学校学区内で構成され、組合員が約六百五十名となっています。

支部の運動は桜井理事、高橋師長と運営委員六名が行事計画をたてながら進めています。

組合員さんと医療生協を結ぶ生協だよりの配布協力者の皆さんの力が欠かせません。現在五十三名の配布協力者の方に生協だよりの配布と臨時の連絡をお願いしています。

多くの皆さんの協力のおかげで、毎月一回運営委員会を開催し、支部活動の取り組みを進めています。

支部の中で最大の行事はやはり、普段顔見知りでない組合員の皆さんが顔を合わせて親睦を図れる移動班会だといえます。春と秋の年二回実施で、今度は何処へ行こうかと、計画を立てています。今年も新緑の五月頃に移動班会を実施しようとして現在検討を進めています。

こうした活動を支える財源作りとして「菜ッピードー」(野菜やお餅の販売など)を年に数回計画をたて実施しています。毎回支部



の組合員さんから新鮮野菜の提供などがあり、財政活動の大きな支えとなっています。



これからも二小支部は、元気に・楽しく・仲良くの気持ちで、仲間増やしや、楽しくためになる班会活動を続けていくことで、いのちと健康を守る医療生協運動につながればと考えています。

太郷支部

山崎 定子

二月の中村班会は暖かい日に恵まれ、薬剤師・看護師を迎えての班会でした。

初めに医療生協について医療活動・介護事業、そして医療生協ならではの専門委員会の様子を紹介しました。

この日のメインは、つばさ薬局の薬剤師による「新タイプインフルエンザ」についての講話でした。また、薬剤師さんが来ていただいたので薬のお話を聞きたいとの事で、皆さんから質問を出していただきました。



今話題になっているサブ  
リメントは「特保」と書か  
れているものが信頼できる、  
ただ糖尿病の人は要注意と  
のこと。また、養命酒やリ  
ポビタン等はアルコール、  
カフェインが含まれている  
事に注意。アナフラキシー  
や甲状腺の手術をした人は  
昆布はダメと言われたが等  
でにぎやかに会が進み「楽  
しかった」、「ためになっ  
た」と言ってくれました。



**石巻支部**

榎林 毅

**元気が出た**

**『組合員交流集会』**

〜ワカメの話から  
新しい班誕生〜

この前の「組合員交流集  
会」に、石巻は六人参加し  
ました。

みんなでおいしいお弁当  
を食べているとき、ワカメ  
の話が出ました。石巻では  
健康食であるワカメを仕入  
れて売りながら、活動費を

作り出しています。

「石巻のワカメ好評だよ」

「今度いつ売ろうか」等と  
話し合っていたとき、ワカ  
メは天ぷらにするとおいし  
いという話ができました。ワ  
カメはみそ汁かおひたしし  
か知らない私はびっくり。  
そこでワカメの天ぷらとか  
ワカメのいたためもの話に  
花が咲きました。

結果的には、「コープの  
おうち」で、「おいしいワ  
カメ料理」の講習会をする  
ことが決定。ついでにその  
地域（向陽町）の人達に呼  
びかけて新しい向陽班を作  
ることになりました。

人が集まれば、アイディ  
アが湧き出て、それが力に  
なって、元気が出て、いい  
ものですね。これも「交流  
集会」での遠藤副理事長の  
お話が、きっと私たちに元  
気と希望を持たせてくれた  
のだと思います。

今、新しい班づくりを通  
して、支部活動にちょっぴ  
りですが、夢が持てるよう  
になりました。



**「認知症」学習会**

福祉ボランティア委員会  
佐藤 清子

待ちに待った医療生協講  
座が二月二十七日（土）の  
午後、みやぎ生協松島店の  
二階で開かれました。

お話しする人は、診療所  
所長山崎武彦先生です。教  
えてもらう内容は、「認知  
症の人との接し方」



初めに、なぜこの講座に  
参加したか①自分が認知症  
ではないかと思つて②家族  
が認知症かと思つて③近く  
に認知症の人がいるから。

参加した人達はどれかに  
手を上げたと思います。昔  
はボケと言つていて次に痴  
呆、相手をバカにする言葉  
を使つていましたが、今は  
認知症と言つている。

認知症は脳の病気ですの  
症状はいろいろあります。  
社会生活に支障を生じるほ  
どの障害が六ヶ月以上継続  
したら認知症、考えるスピ  
ードが遅くなるのでゆっく

りと話したり、驚かせたり  
急がせない、自尊心を傷つ  
けない。対応の心得として  
さわやかに、さりりと、さ  
りげなく、まずは見守り、  
余裕をもって、声をかける  
ときは、一人で後ろからで  
はなく前から相手の視線に  
合わせて、おだやかに、は  
っきりと、やさしい口調で、  
どんな時でも笑顔で接する。

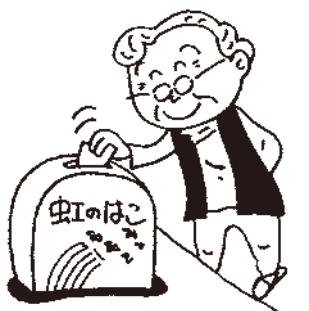
山崎先生のお話はとても  
わかりやすく、すぐ実行出  
来そうです。今回参加して  
くれた人の中に、今介護を  
勉強中の若い人もいました。  
開催場所がみやぎ生協松  
島店だったからか、多くの  
方々に話を聞いてもらい、  
一つでも二つでも実行出来  
れば良いと思います。



**院所利用委員会**

奥平 勝保

院所利用委員会のメンバ  
ーは、理事・組合員（各支  
部より選出）・職員（医科  
歯科・介護）で構成され、



二ヶ月に一回定例会を開催  
しております。

主な任務は、虹の箱に  
入っている「診療所を利用  
しやすくするためのアンケ  
ートに記された院所の内外  
に対する利用者皆さんのご  
意見やご要望等の実現に向  
かって議論を重ねておりま  
す。また、年に二回院所内  
外のウォッチングを実施し、  
施設・設備の充実を図って  
おります。

実現した例としては、医  
科の待合室の電話の脇にあ  
った飾り物を入れていた棚  
を別の場所に移し、スペー  
スを広くしました。また、  
テレビの位置を変えたり、  
車椅子の置き場所を決めた  
りしています。特に皆さん  
方のご協力により、診療所  
敷地内の全面禁煙も実効を



挙げております。一層のご  
理解をお願いいたします。

最近のアンケートには、  
「親切で優しくかった」「わ  
かりやすく応答してくれ  
た」などと職員の皆さんに  
対しての感謝の気持ちを表  
しているものが多く見られ  
るようになりました。

利用者の皆さんも気のつ  
いた事などは是非々のご意  
見やご要望を虹の箱でお知  
らせ下さいませようお願  
いいたします。

**教育委員会**

**『通信教育の勧め』**

佐田 紀元

松島医療生協の職員と組  
合員（特に理事）とを結び  
その人々の諸活動を方向づ  
け、理論づけてくれる重要  
な「通信教育」は〇九年度、  
職員はほぼ全員の四十三名  
と組合員十二名（理事七名、  
一般組合員五名）計五十五  
名が受講しました。この三  
月ではほぼ全員が修了とな  
りました。おめでとうござ  
いました。

一〇年度は、職員・理  
事・監事は勿論、組合員さ  
らも多数受講出来るよう取  
り組みます。



これは〇九年度の反省に  
立って、理事会で話し合わ  
れたものです。

「知は力なり」、「数は  
力なり」。医療生協の日常  
の諸活動・実践にとって指  
針となり背骨となりますの  
で、各種のテキストの中か  
ら希望するテーマを選んで、  
読んで回答を送るといふ仕  
組みの通信教育という学習  
に、積極的に取り組んで下  
さい。

当一〇年度の申し込みは、  
七月一日迄に…となってい  
ますので、組合員の皆様宜  
しくお願ひします。  
詳しいことは《組合員活  
動部》迄 電話（3533-  
3309）



**医療生協**



職場紹介

医療生協事務局・組合員活動部の紹介

医療生協事務局は、診療所の二階にあり、生協全体の管理と総務・経理を担当する事務局と、組合員活動部にわかれています。

組合員活動部には、組合員の健康管理バス・送迎担当が三人います。

地域の送迎バス(キャラバン)↓桜井二美子  
二月一日より歯科から移動、地域送迎バスの担当になりました。送迎の相談・コースの案内など、気楽にお声をかけてください。



歯科送迎↓桜井 昭  
医科送迎↓佐藤 広  
通院サービスの向上のため笑顔と安全運転で仕事をしています。

「組合員・出資金ふやし・班会開催」の相談・計画がこの部屋から始まります。組合員活動の担当職員・小野潤一は、この部屋にいます。ごには、大友理事長や青木副理事長(兼・助け合

久中先生  
もうすぐニューヨークへ出発

署名のお願い...



組合員の皆さまにご記入頂いた「核兵器のない世界を」核廃絶署名は、三月十五日に船便でNPT(核拡散防止条約)再検討会議のある国連本部に提出されています。それ以降の署名用紙は、全国の医療関係者の代表者と一緒にニューヨークへ持って行く予定でいます。松島からはご存知歯科の久中先生が参加する予定でいます。

久中先生が参加するにあたりましては、資金カンパの会の代表(も出勤しており、組合員さんがいつも集まりにぎやかです。生協事務局には、青井専務理事と佐藤敦子経理・総務担当が働いています。



にもご協力頂き誠に有難うございました。多分この号が出る頃にはカンパも集まり(三月末で予定の四分の三になりました!)、なんとか久中先生をニューヨークの核廃絶のアピール行動に参加させることが出来そうです。

ただ、署名がまだ目標数に達していないため、まだ署名されていない組合さんや家族に向けて最後のお願いをしたいと思います。

NPTとは「核兵器を持つている国(米ロ英仏中)は、核を委譲しない。持っていない国は持たない」と決めた条約のことです。持たない国の持つ不平等感を和らげるため、核保有国の軍縮の義務を謳った六条と、非核兵器国による原子力利用への協力を謳った四条が設けられています。

オバマ大統領の核廃絶発言も揺らいでいますが、心変わりしないよう釘を刺すために、また広島・長崎の原爆被害者が生存しているうちに、核廃絶の道筋ができるように、早急にご署名宜しくお願ひします。尚、書いた署名は支部役員さんか直接診療所へ持参して下さい。

「久中先生をニューヨークへ送る会」事務局

頼れる診療所に  
心からありがとう

海岸支部 千葉富三子

「心筋梗塞のうたがいで、すぐ坂病院へ行って下さい」

「エエ...」私は頭がガンとなり、三十年前同じ病名であっけなく旅立った主人を思い出しました。「救急車を手配します。」山崎先生の声で我にかえってこれは大変な事になったと思ひました。

全部診療所の職員の方々におまかせし、高橋師長さんに付き添っていただき、救急車で坂病院へ搬送してもらい大事に至らずに済みました。

特に高橋師長さんの「大丈夫だから心配しないでネ」の一言が私の気持ちを落ち着かせてくれました。

診療所の山崎先生始め職員の方々には大変お世話になり、海岸診療所のありがたさをつくづく感じさせられた出来事でした。検診の時だけ、又、予防注射だけの診療所ではなく地域に密着した、頼れる診療所、何でも話し合えて自由に利用出来る集まれる場所もあり、職員・組合員が一体となって盛り上げて行かなければと痛感致しました。

診療所の皆さん本当にありがとうございました。

医療生協で働いてみませんか!

看護師・准看護師募集中

- ①必要な資格 看護師又は准看護師、普通自動車運転免許(正職員、嘱託職員、パート職員)
- ②勤務地 訪問看護ステーションまつしま(松島町)、なるせの郷(東松島市野蒜)
- ③仕事内容 訪問看護、通所サービス担当看護師(未経験者可)



委細相談可、履歴書を松島海岸診療所・介護部門まで送付。

〒981-0213松島町松島字普賢堂2-11  
ホームページ <http://www.mmcoop.or.jp/>  
連絡先 ☎022-353-2696

各事業所等の連絡先

- 松島海岸診療所(内科) ☎022-354-3702
- 松島海岸診療所(歯科) ☎022-353-2717
- 介護相談センター ☎0225-86-2235
- 訪問看護ステーション「まつしま」 ☎022-353-3295
- なるせの郷(ひなたぼっこ) ☎0225-88-3836
- デイケア(おたっしやデイ) ☎022-354-3702
- まつしまくらしの助け合いの会 ☎022-353-3309
- なるせくらしの助け合いの会 ☎0225-88-3836
- 松島医療生協(事務局) ☎022-353-2696
- 組合員活動部(組織部) ☎022-353-3309

松島海岸診療所 診療案内

●内科 ☎(022)354-3702

月	午前		午後	
	8:30	12:30	15:00	17:30, 18:00
月	山崎		山崎	
火	村口・吉田(内視鏡)		村口	
水	山崎		村口・山崎(往診)	
木	山崎		山崎	
金	山崎		山崎	
土	山崎・溝口で交替			

※受付は診療時間終了30分前までをお願いします。  
※木曜日の7:30からの診察は予約制です。

●歯科(予約制) ☎(022)353-2717

月	午前		午後・夜間	
	8:45	12:00, 14:00	17:00	20:00
月	診療		診療	
火		診療		
水	診療		診療	
木		診療		
金		診療		
土	診療		診療	

※急患受付は診療時間終了30分前までをお願いします。  
各担当歯科医師の診療日は不規則です。受付までお問合せ下さい。  
歯科医師(常勤)久中・町田理恵・町田実恵(嘱託)井上  
(非常勤)岩松・遠藤・佐藤  
(矯正担当非常勤)河内・依田

●訪問看護ステーション「まつしま」

月~金	9:00~17:00
土	9:00~12:00

●デイケア(おたっしやデイ)

月~金	9:15~16:15
-----	------------

●介護相談センター

月~土	9:00~17:00
-----	------------

●デイサービス(なるせの郷(ひなたぼっこ))

月~土	9:15~16:15
-----	------------